

社会科学習指導案

- 1 日 時 令和3年1月28日(木) 3校時 10:50~11:35
- 2 場 所 第6学年2組教室(B棟3階)
- 3 学年・学級 第6学年2組 30名
- 4 単 元 名 「平和で豊かな暮らしを目指して」
- 5 単元目標

●知識・技能

戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことについて理解するとともに、基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。

●思考・判断・表現

戦後の日本の政治や社会の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

●主体的に学習に取り組む態度

戦後の日本の政治や社会について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本に歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

6 単元について

(1) 児童観

本学級は、社会科の学習に対する意欲が比較的に高い児童が多い。歴史の学習では、その時代の様子や、その時代に活躍した人物などを教科書、資料集等で調べ、まとめる学習をしてきた。調べ活動では、タブレットPCを使い、インターネットで調べて、学習課題をまとめる活動も行ってきた。意欲的な児童がいる反面、その時代の出来事や、人物をその場で忘れてしまう児童もいる。そのために授業の始めに復習から行い、時代のつながりを大切にするようにしてきた。本時の学習では、時代のつながりを大切にするために、始めに写真や資料等を活用して復習から行い、本時の問いにつなげていきたい。また、政治単元で学習した内容を振り返り、日本国憲法の制定について理解を深めるよう育んでいきたい。

(2) 教材観

本時の学習では、民主主義国家として再出発した日本の姿について、日本国憲法と諸改革を中心に追究していく。選挙権の拡大を導入として、現在の日本の政治制度の仕組みがこの頃から始まったことをつかませる。そして、こうした変化の背景には、平和で民主的な国を目指すという方針があったことを捉えさせる。

「民主的」という言葉は抽象度が高い用語であるので、児童に、「女性が選挙権を獲得したこと」「全人口の約48%にまで、選挙権が拡大したこと」といった具体的な事象を理解させたい。また政治単元で学習した内容を振り返ったり、日本国憲法と大日本帝国憲法下の政治と比較したりして、「民主的」に変化したことを「民主的」という意味で捉えられるようにしたい。

(3) 指導観

本単元では、戦後の日本の様子や日本国憲法が制定され、平和で民主的な社会づくりが目指されてきたことが学習内容になっている。戦後の諸改革については、社会の仕組みがそれまでどのように変わったかをつかみ、「民主的な社会の仕組み」が目指されたことを捉えたい。そのために日本は、独立を回復し、国際社会へ復帰した時代の流れを確認し、教科書や資料集、タブレットPCを使い調べ学習を充

実らせていきたい。そして基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにしたい。また、学習指導要領の内容の(1)のアの日本国憲法に関する学習と関連付けながら、日本国憲法制定の意義について理解を深めるように指導していくようにする。

今日の社会に残されている課題の多くには、歴史的な背景があることに気づかせ、そうした経緯を踏まえた上で、平和的な手段で解決していくことが大切であることを確認していく。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>1 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化資産などについて、写真資料、統計や年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。</p> <p>2 調べたことを年表や図表や文などにまとめ、戦後日本は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で、重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p>	<p>1 世の中の様子に着目し、問いを見出し、戦後の日本の政治や社会について考え、表現している。</p> <p>2 日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催と社会の変化を関連付けたり、総合したりして、戦後日本は民主的な国家の中で重要な役割を果たしてきたことを考えたり、学習してきたことをもとに、歴史を学ぶ意味を考えたりして適切に表現している。</p>	<p>1 戦後の日本の政治や社会について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し解決しようとしている。</p> <p>2 学習してきたことをもとに今日の自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事をもとに現在及び将来的の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えようとしている。</p>

8 単元の指導計画・評価計画 (6時間扱い、本時は3/6)

時	目標	学習活動	評価の観点		
			知	徳	体
1 2	○戦争が終わった頃の暮らしの様子に着目し、戦後の新しい社会についての学習問題を作り、学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 戦争が終わった頃の様子を調べ、人々の暮らしを推測する。 さらに調べたいことや疑問を出し合う。 戦後の社会や人々の暮らしについて学習問題をつくり、調べていく見通しを立てる。 		○	○
3	○日本国憲法の制定や様々な改革を調べ、日本が目指した新しい社会のあり方について捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の日本が民主的で平和な社会になったことをつかむ。 日本国憲法や様々な制度の改革について調べる。 戦後の日本が目指した社会のあり方について話し合う。 	○		
4	○サンフランシスコ平和条約や東京オリンピック・パラリンピックの開催などを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 日本が独立を回復した経緯をつかむ。 東京オリンピック・パラリンピックが開催されるまでの経緯や、資料から当時の人々の思いについて調べる。 開催されたことの意味を考え、話し合う。 	○		

5	○産業や経済の発展を調べ、社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを捉える。	<ul style="list-style-type: none"> 産業や経済が急速に発展していった様子について調べる。 人々の暮らしがどのように変化したのかを調べる。 産業が発展していく一方で、公害問題も起こったことをつかむ。 	○	
6	○戦後の近隣諸国との関係や残された課題を調べ、国際社会の一員として友好や信頼の関係を築いていくことの大切さを捉える。また、調べたことをまとめ、戦後、様々な改革を行い、国際社会からの信頼を回復したことを捉え、戦後の日本の社会を考え、表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 日本と近隣の諸国の国々やアメリカとの結びつきについて調べる。また、残された課題について調べる。 今日の社会が築かれてきた経緯を振り返り、これからの社会のあり方について考え、話し合う。 	○	○

9 本時の授業計画

(1) 本時の目標

日本国憲法の制定や、様々な改革を調べ、日本が目指した新しい社会のあり方について捉える。

(2) 本時の流れ

	学習活動と内容	指導上の留意点	【評価の観点】 (評価場面や方法)
つかむ (10分)	<p>本時の問いを把握する</p> <p>①選挙や国会の様子、教科書などの写真から、戦後の日本が民主的で平和な社会になったことをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「p 220 写真ア、写真イ」を見て、戦前の選挙制度について振り返り、女性にも選挙権が与えられたことを確認する。 教科書「p 220のグラフ」を見て、より多くの国民の意見が政治に生かされるようになったことを読み取らせる。 日本国憲法と大日本帝国憲法下の政治と比較出来るように、政治単元の復習から入り、日本国憲法との内容を比較する。また、民主主義について前時の復習をする。 	
<p>本時の問い：戦後の日本が目指した新しい社会はどんなあり方だろう。</p>			

<p>調べる (30分)</p>	<p>本時の問いを追究する</p> <p>②日本国憲法や様々な制度の改革について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法や様々な改革を調べ、戦後の日本が目指した民主的な社会について考える。 <p>③戦後の日本が目指した社会のあり方について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3人グループになり、そのグループで「日本国憲法」「学校・教育制度」「戦後の様々な改革」の3つのテーマに分かれて、教科書・資料集・インターネット等を使って調べ学習をするよう促す。 <p>●参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「p 221 資料エ・資料オ・資料カ・写真キ」 ・資料集 p 102～p 103 ・インターネット等 <ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容をテーマごとに全体で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本が目指した新しい社会のあり方についてプリントでまとめるために、3つのテーマごとに分かれたグループで話し合う時間を設ける。 	<p>【知・技】</p> <p>日本国憲法や様々な改革をつかみ、戦後、日本が民主的な国家を目指してきたことを捉えている。</p> <p>〈記述内容〉</p>
<p>まとめる (5分)</p>	<p>本時の問いの解決、まとめ</p> <p>④本時の問いをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを全体で共有する。 <p>{まとめる内容}</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国民一人一人の権利を保障し、平和で民主的な社会を目指したこと。 ○二度と戦争をしない国を目指したこと。 ○教育にも力を入れるようになったこと。 	

2 日本の歴史

組 名前

平和で豊かな暮らしを目ざして

「もう戦争はしない」

戦争が終わって、日本の社会はどのように変わっていったのか、調べましょう。

テーマ ()

平和で豊かな暮らしを目ざして

「もう戦争はしない」

○調べたことをグループでまとめて、戦争が終わって日本の社会はどのように変わっていったのかについて、話し合おう！

戦後の日本が目指した社会のあり方とは……(～を中心とした、～を目指した社会、～な国、～に力を入れるようになった)